強くしなやかな
JR産業を築くために
組織と運動を磨き、責任ある活動を
全力で推し進めよう!

JR連合

JAPAN RAILWAY TRADE UNIONS CONFEDERATION

http://www.jr-rengo.jp

日本鉄道労働組合連合会
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-8-10 東興ビル9階
TEL (NTT) 03-3270-4590
FAX (NT) 03-3270-4429
1部20円（但し組合費に含む）
●発行者／荻山市朗　●編集者／宮野勇馬
facebook JR連合
(旧twitter) JR連合

JREユニオンへの加入続く
新たに7人が加入を英断
～2月で25人の仲間が加わる～

先に（2月14日）JREユニオンへ加入した18人の仲間に引き続き、同じく東北地方で働く仲間7人が東日本ユニオン（JR東日本労働組合／産別加盟なし）を脱退し、2月27日にJREユニオンへ加入した。

7人の仲間は、過去にJR連合の組合員であったことから、再びJR連合へ加入したいとの希望を持っていたところ、JREユニオン役員との交流機会を得て、再びJR連合の加盟組合への加入の道筋が立ったことから東日本ユニオンを脱退し、加入する決断に至った。

これにより2月は、JREユニオンに合計25人の仲間が新たに加わることとなった。この度の加入で、JREユニオンの潜在的な理解者といえる仲間が未だ多く残されていることが明白になった。

私たちは、潜在的な理解者はもちろん、労働組合の必要性を感じている未加入者の方々、「民主的労働運動」を志向する他労組組合員の方々が、JREユニオンへ加入することを心よりお待ちしている。

JR連合に集う全国8万5000人の仲間は
勇気ある決断を心より歓迎します!

〈民主化3単組の加入実績〉（2024年6月～2025年2月末）

JR北労組	4人	JREユニオン	25人
貨物鉄産労	3人		

2025春季生活闘争

JR7単組が高水準の回答を引き出し妥結

すべてのグループ労組の妥結まで最後の最後まで「ONE TEAM」で

JR連合は、2025春季生活闘争において、「ONE TEAMでもっと賃上げ・生活改善」をスローガンに掲げ、最重要課題となっている人財の確保・定着に向け、社会水準を強く意識するとともに、広がり続ける産業内外との格差是正を訴え、すべての働く仲間の生活改善と新たなステージの定着をめざしてきた。

JR各単組は、連合や交運労協の方針を受け、定期昇給の完全実施および「1万2000円以上のベア要求」を含む「月例賃金総額1万8000円以上の引き上げ」を求める統一要求に基づき、鋭意労使交渉を展開した。その結果、3月6日から14日にかけて全単組が回答を引き出し、妥結した。

JR7単組の妥結内容は、定期昇給の完全実施はもとより、昨年を上回る高水準のベア・賃金改善をはじめ、各単組の実情に応じた諸手当・労働条件改善となり、組合員の労苦に報いる結果となった。

グループ労組の春季生活闘争は、これから交渉が本格化し、ヤマ場を迎えることになる。引き続き全単組が支えあい、「ONE TEAM」での統一闘争を進めていく。

2025春季生活闘争におけるJR7単組の妥結結果を踏まえてのコメント

2025年3月17日

ＪＲ連合の統一方針に基づき取り組みを展開してきたＪＲ７単組は、会社との真摯な労使協議を積み上げた結果、３月６日から14日にかけて大きな成果を引き出し、妥結した。

２０２５春季生活闘争において、私たちは最重要課題となっている人財の確保・定着に向けて取り組みを展開してきた。昨年は、大幅な賃金引上げを図ることができたが、世間水準や物価上昇分には及ばなかった。今次闘争では、「ＯＮＥ ＴＥＡＭでもっと賃上げ・生活改善」をスローガンに掲げ、社会水準を強く意識するとともに、広がり続ける産業内外との格差是正を訴えてきた。そして、支払能力論から脱却し、動き始めた賃上げの潮流に乗り遅れることがないよう、人財への投資を通じてすべての働く仲間の生活改善と新たなステージの定着をめざしてきた。

このように取り組んできた結果、３月６日にジェイアール・イーストユニオン、11日にＪＲ東海ユニオンおよびＪＲ西労組、13日に貨物鉄産労、14日にＪＲ北労組、ＪＲ四国労組およびＪＲ九州労組がそれぞれ回答を引き出した。ＪＲ７単組が引き出した回答は、定期昇給の完全実施はもとより、昨年を上回る水準でのベースアップ・賃金改善であり、各単組が人財の確保・定着に向けて「あらゆる人財への投資」を力強く呼びかけてきた結果であると評価する。

ＪＲ連合の集計（速報）では、平均賃金方式で要求・交渉した６単組の加重平均（組合員ベース）は、18,683円（6.08％）となり、昨年実績を3,151円（1.11％）上回った。また、賃上げ分（定期昇給相当分を２％と仮定した推計値）は12,537円（4.08％）となり、2024年の物価上昇分（2.7％・総務省統計局）を上回った。個別賃金方式で要求・交渉した単組は、35歳ポイントで12,200円（3.55％・定昇除く）となり、昨年実績を1,100円上回った。また、平均賃金方式と同じく2024年の物価上昇分を上回った。期末手当（年間・夏季）を要求した５単組では、４単組が回答を受け、それぞれ昨年を上回る支払月数を引き出し妥結した。このほか、各単組の実情に応じた諸手当・労働条件改善を引き出すなど、多くの成果を確認した。連合が３月14日に発表した第１回回答集計結果（平均賃金方式・加重平均）は、定昇込み17,828円（5.46％）、賃上げ分12,571円（3.84％）となっており、ＪＲ７単組の成果は、連合構成組織の一員・ＪＲ産業の責任産別として一定の責務を果たしたものと認識する。

一方、産業内の個別結果に目を向けると、経営体力差が顕著に表れており、上場４社と非上場３社の間で格差が拡大した。賃金・経済・物価の好循環を作り出すためには全体の底上げが必要であり、グループ労組も含めて十分な賃上げができる基盤整備の取り組みを強化する必要がある。

また、今次闘争においても、ＪＲ東日本は連合が設定するヤマ場に先んじて回答を示した。政・労・使の共通認識のもと、ジェイアール・イーストユニオンが機運の醸成や相場形成のために申し入れた回答指定日を逸脱しており、真摯な労使協議が尽くされたうえでの対応であったかが問われる。私たちは春季生活闘争の機会を通じて、組織強化・拡大と労使関係の充実を呼び掛けている。経営側は、今次闘争でも大いに発揮されている労働組合の役割と労使関係の重要性を十分に認識し、ＪＲ連合および加盟単組と健全かつ強固な労使関係・信頼関係を構築するよう努めるべきである。

これから交渉が本格化し、ヤマ場を迎えることになるグループ労組については、多くの加盟単組がＪＲ連合方針に基づく要求を掲げ、積極的に労使協議に取り組んでいる。健全な労使関係に基づく真摯な協議を通じて、物価上昇分を上回り、人財の確保・定着に資する労働条件の改善を早期に引き出すことを要請する。一部では、労務費の価格転嫁が道半ばであることや、いまだに労使間で社会情勢や課題認識を共有できていない状況も散見され、厳しい交渉も行われているが、目標賃金水準への到達が展望できる賃上げを実現するために、各単組の一層の奮闘を期待する。ＪＲ連合は、エリア連合とも連携を深めながらグループ労組の交渉支援に取り組み、併せて、個別労使では対応できない課題解決を図る政策・政治活動等を引き続き展開していく。

第83回JR連合国会議員懇談会
JR二島貨物・整備新幹線に係る課題を共有

各種課題の解決に向けて意思統一

ＪＲ連合は２月27日、第83回国会議員懇談会を開催し、榛葉賀津也会長（参議院議員）をはじめとする国会議員懇談会の所属議員・秘書、各単組の代表者らが出席し、当面する各種課題の解決に向けて意思統一を図った。

議員懇を代表して榛葉会長は、ＪＲ各労使の春季生活闘争に触れ、暮らしの底上げを図る必要性を強調するとともに、議員懇に所属する候補者の第27回参院選全員当選に向けた連携を要請した。続いてＪＲ連合の荻山市朗会長は、ＪＲ各社で発生した不安全事象に触れ、改めて安全問題にしっかりと向き合っていく決意を述べるとともに、春季生活闘争を通じた組織強化・拡大にも強く取り組んでいくと挨拶した。

事務局からはこの間の経過報告のほか、主な課題として、①ＪＲ二島・貨物会社の経営自立に係る課題、②北陸新幹線等の整備新幹線計画推進に係る課題、③労働基準関係法制の見直しに係る課題について共有。とりわけＪＲ二島・貨物会社の経営自立に係る課題の解決に向け、具体的に実態ヒアリング等を実施していくことを確認した。

議員側からは、北陸新幹線の敦賀以西ルート問題について質問があり、丁寧な地元説明のうえに既定の京都ルートの早期着工を求めるＪＲ連合方針を確認したほか、貨物鉄道へのモーダルシフト推進にあたって安全保障の観点等も盛り込むべき、との意見も出された。

ＪＲ７単組の２０２５春季生活闘争要求・妥結状況

2025.3.14時点

単組名	2025年 賃金 要求日	要求内容	妥結日	妥結内容	期末手当 要求内容	妥結内容	昨年実績 ベア（賃金改善）	期末手当
ＪＲ北労組	2月10日	・ベア12,000円（エルダー同額）	3月14日	・定昇実施（所定昇給号俸４号俸） ・ベア　一律5,000円	別途		1,500円	夏1.9カ月
ＪＲＥユニオン	2月13日	・定昇係数４実施 ・ベア15,000円（エルダー7,000円）	3月6日	・定昇実施（昇給係数４） ・ベア　所定昇給額の1.5倍＋4,000円（平均13,782円）（エルダー8,000円）	夏3.0カ月	夏2.8カ月	平均10,598円	夏2.7カ月
ＪＲ東海ユニオン	2月10日	・定昇の完全実施（標準係数４） ・純ベア12,000円	3月11日	・定昇年度初実施（標準乗数４） ・ベア　8,000円（35歳ポイント）	夏3.1カ月	夏3.05カ月	7,000円（調整手当平均4,100円）	夏3.0カ月
ＪＲ西労組	2月6日	・定昇の完全実施 ・ベア15,000円	3月11日	・基準昇給年度初実施 ・ベア　一律12,200円（シニア同）（ハーフ勤務は7,320円）（契約社員の時間額75円）	年間5.7カ月	年間5.3カ月	平均8,625円	年間5.2カ月
ＪＲ四国労組	2月10日	・ベア12,000円	3月14日	・定昇実施 ・ベア　6,000円（エキスパート社員含む） ・準組合員（パートナー社員）一律4,800円､(サポーター社員）時給一律30円	別途		3,000円（一時金150,000円）	夏1.86カ月
ＪＲ九州労組	2月10日	・ベア15,000円	3月14日	・定昇実施（仕事給昇給額表に掲げる額） ・ベア　15,000円 ・嘱託再雇用社員18,000円 ・地域社員10,900円	夏3.0カ月 55歳以上加算	夏2.6カ月	（制度改正20,393円）（一時金200,000円）	夏2.5カ月
貨物鉄産労	2月13日	・ベア15,000円（定昇含み18,000円）	3月14日	・定昇実施 ・ベア　2,000円	年間4.8以上（夏2.3以上、冬2.5以上）		平均1,800円	夏1.61カ月

交運労協・連合「交通・運輸」部門連絡会
60万人の力で最後まで力強い運動を
2025春季生活闘争勝利3・3総決起集会

交運労協・連合「交通・運輸」部門連絡会は、3月3日、都内にて「この国の社会を支える私たちキーワーカーにふさわしい賃金と労働条件を勝ちとろう」をスローガンに、2025春季生活闘争勝利3・3総決起集会を開催し、産業間格差の是正に向けて最後まで全力で闘い抜く決意を固めあった。

冒頭、主催者を代表して挨拶に立った池之谷潤議長は、今次闘争を取り巻く環境や交通運輸・観光サービス産業の現状について触れ、「人材不足による労務倒産件数が過去最多となっている。持続可能な交通運輸・観光サービス産業の再構築に向けて、交運労協に結集する60万人の力で最後まで力強い運動を展開しよう」と述べた。

力強い運動を展開する決意を固めあった

来賓として、次期参院選推薦候補の森屋隆議員、岸真紀子議員、小沢雅仁議員、連合から芳野友子会長が出席。芳野会長は挨拶で、「よいサービスに相応の値が付くのは、対価を払える経済力があってこそ。大企業・中小企業を含めた『みんなで賃上げ』を実現するため、会社と腹を割って最後まで交渉してほしい」と訴えた。

続いて、交運労協の慶島譲治事務局長（JR連合特別執行委員）より、①産業の基盤たる人材の確保、②拡大する産業間格差の是正、③物価高騰に対する実質賃金の確保、④賃上げの原資となる価格転嫁の推進、⑤産業内の規模間格差の是正の5つの視点に基づく交運労協2025春季生活闘争方針について提起があり、参加者全員で課題認識を共有するとともに今後の取り組みに向けて意思統一を図った。

その後、構成組織を代表して、運輸労連、交通労連、サービス連合などの代表者より今次闘争勝利に向けた決意表明が行われた。

最後に、集会宣言を確認し、池之谷議長の団結がんばろうで、2025春季生活闘争勝利に向け、交運労協に結集する仲間が一丸となり闘い抜くことを確認した。

JR連合「男女平等参画推進活動」
女性役員登用・参画に向け各種活動を展開

JR連合では現在、「第4次男女平等参画行動目標」に基づき、女性役員の議決機関等への参画率向上に取り組むとともに、女性役員の交流機会創出等、男女平等参画推進に資する活動を展開している。

2月4日には、第19回女性役員意見交換会を開催し、21人の女性役員参画のもと、「明日からでも取り組める具体的な活動について考えよう」をテーマに意見交換を行った。

3月6日には、国際女性デーである3月8日に併せて開催された連合3・6国際女性デー中央集会の前段に、第2回男女平等参画推進委員会を開催。同委員会では、「連合『ジェンダー平等推進計画』フェーズ2」に基づき、①トップリーダー（JR連合会長）からの男女平等参画推進に係るメッセージ発信、②女性役員の教育・フォロー充実化の具体的検討について意思統一を図った。その後、同委員会に参画した女性役員一同で連合中央集会への参画を行った。

JR連合では毎年7月以降に加盟単組の定期大会が開催される。こうしたタイミングこそ、女性役員登用を図り、男女平等参画推進に資する活動を策定するチャンスととらえ、今一度、自組織の現状に向き合い、「ONE TEAM」で男女平等参画推進の深度化を図っていく。

男女平等参画推進委員で田村麻美議員とともに

青年・女性委員会 電力総連との意見交換会
「若年層の組合離れを防ぎたい」との課題が共通

JR連合青年・女性委員会幹事会は2月28日、電力総連青年委員会との意見交換会を開催した。

今回の意見交換会ではまず、安全意識の向上を目的に、東京電力「安全考動センター」の施設見学を行った。

東京電力「安全考動センター」にて

同センターは「参加型の安全教育」を実施していることが特徴で、過去の労働災害と同じ環境を体験できる設備を備えており、身近に潜む危険を体感的に学習することができた。

見学後は電力総連本部にてグループディスカッションを実施し、組織的な課題の共有を図るとともに、課題の解決に向けた活動の工夫について議論した。興味深いことに「若年層の組合離れを防ぎたい」との課題は共通しており、SNSを含む活動の〝見える化〟や、日頃からの組織内コミュニケーション活性化が重要との意見が出された。

終了後はグループ単位で手作りの懇親会を行い、濃密な交流を図ることができた。

これらの経験は普段の活動では得難く、各種課題も含め、相互理解を深めることができ、意義深い活動となった。引き続きこうした機会の創設をめざして取り組んでいく。

参院予算委員会で
石破総理に重要課題を問う
フォーラム議員が質問に立つ

JR連合「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」所属の森屋隆参議院議員と浜野喜史参議院議員は3月10日、参議院予算委員会でそれぞれ質疑に立ち、石破茂内閣総理大臣や中野洋昌国土交通大臣、福岡資麿厚生労働大臣らに対し、JR産業の主要課題の解決に向け、質疑を行った。

まず同日午前、森屋議員は、①国鉄分割民営化から長い時間が経過する中、JRは地方ローカル線維持に向け厳しい現実に直面するため、事業者任せにせず、国の公共交通予算拡充を含め、公的支援を行っていくことが必要、②バス運転手不足が深刻な一方、運賃が上がらずダイヤも減らせない現状があり大きな問題、との旨を指摘した。

森屋隆参議院議員

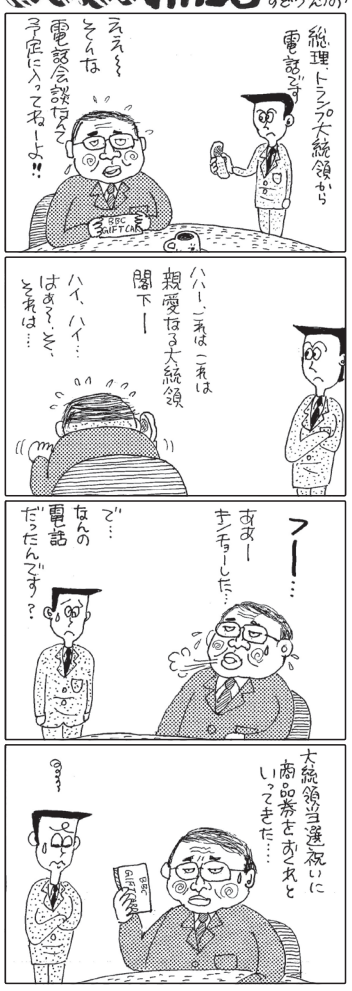
浜野喜史参議院議員

地方ローカル線維持について石破総理からは、「人口減少の中、モーダルシフトの観点からどのように解を見出していくか考えたい」旨の答弁があり、バス運転手不足について中野大臣は「バス運転者の処遇改善に資する運賃改定の迅速化等が必要」との認識を示した。

同日午後、浜野議員は、賃上げと消費拡大の好循環に係る質疑の中、「広く賃上げを呼びかける以上、認可料金である電気料金や鉄道料金、薬価等についても賃上げを考慮すべきだ」と指摘。これに対し石破総理から、「電力・鉄道・薬価等の価格審査時、賃上げの考慮は当然重要。人件費等の増加が料金に反映され賃上げが進む環境整備に努める」旨の答弁を引き出した。

今後、こうした質疑・答弁を具体的な課題解決に活かすべく、国土交通委員会等でもさらなる質議を展開していく。

こくみん物語



こくみん共済 coop NEWS

「たすけあいの輪をむすぶ」
こくみん共済 coop は、
次のステージへ

公式キャラクター
ピットくん

たすけあいの輪をむすぶ
こくみん共済〈全労済〉
全国労働者共済生活協同組合連合会 coop

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

JR連合 ふれあいキャンペーン
グループ労組めぐり
〜全国の仲間を応援しよう〜

JR東海リテイリング・プラス労働組合

2023年10月1日に東海キヨスク株式会社、株式会社ジェイアール東海パッセンジャーズの2社が合併し、新たに「株式会社ＪＲ東海リテイリング・プラス」が発足しました。

ストア事業、新幹線車内サービス事業、ＦＣ・ライセンス事業、製造事業、ＥＣ事業、飲食事業の６つの事業を通じてコーポレートスローガンである「旅と暮らしに ときめきの ひとときを」提供することで、ご旅行のお客さまや沿線地域にお住いのお客さまに、心ときめくプラスの時間をお過ごしいただくことをめざしています。

ＪＲ東海リテイリング・プラス労働組合は、2024年３月21日に東海キヨスク労働組合とジェイアール東海パッセンジャーズ労働組合が合併して結成されてから１年が経過しました。職場のレクリエーションや総対話行動など、約3,000人の仲間と様々な活動を進めてきました。組織としてしっかりと融合できるように、特に仲間同士がコミュニケーションを取れる場としてレクリエーションに力を入れています。

引き続き、組合員の想いが常に反映された組合員主体の組織を希求し、将来にわたる「会社の発展と組合員、家族の幸せ実現」を目標に取り組んでいきます。

共に頑張りましょう。